

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご購入のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防水性 ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)での使用はお避けください。
 ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
 防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
 ●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。
 ●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
 ●防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
 ●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な器具を必要とします)
 ●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
 ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
 ●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。
 ●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。
 ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
 ●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ ●「サビ」
 ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。※汚れにより酸素が断たれると表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 ●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

お手入れ ●「かぶれ」
 ●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
 ●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

温度 ●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
 ●直射日光が長く当たったり、高温になるところに放置しないでください。また、超低温に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
 ●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
 ●低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻れば、ボタンは正常に作動します。
 ●低温下でアラームを使用すると表示が見にくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には支障ありません。
 ●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には支障ありません。(ただし、ガラス部分をぶつけることはお避けください。)

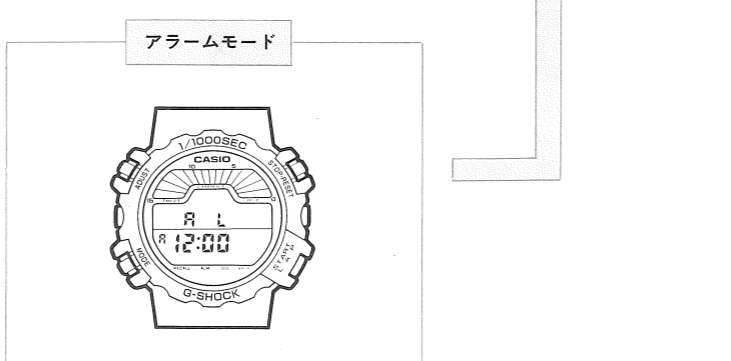
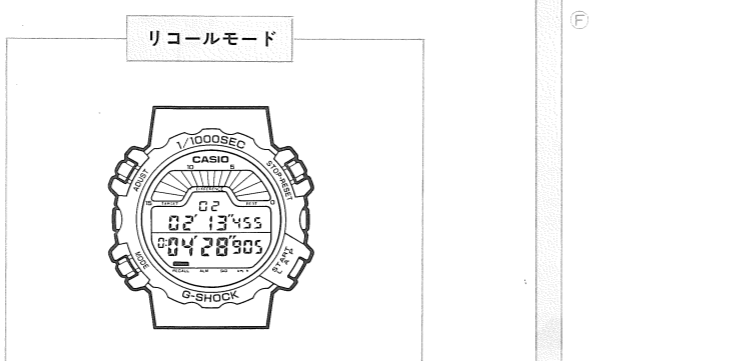
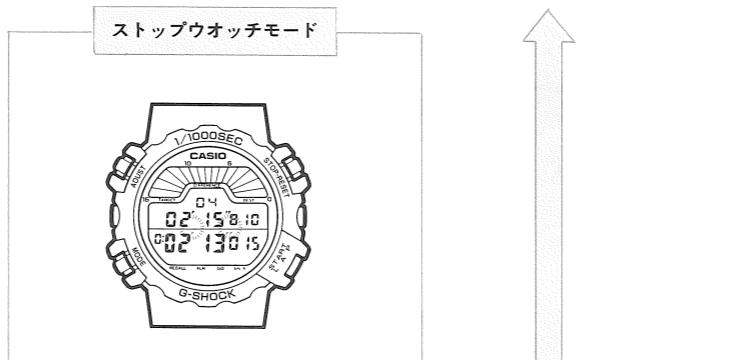
磁気 ●磁気の影響はありません。
 ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。
 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について
 最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
 ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
 ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。
 ●電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「止まったり」します。
 ●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
 ●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用すると故障の原因となる場合があります。
 ●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

液晶パネルの交換について
 液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

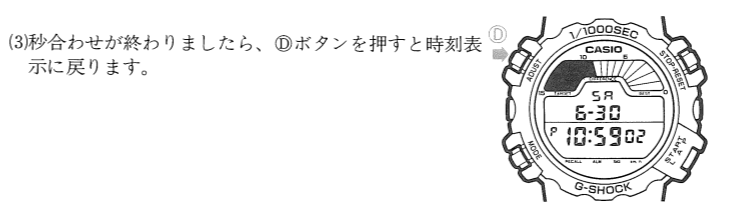
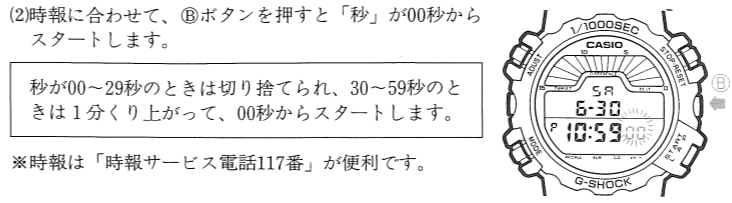
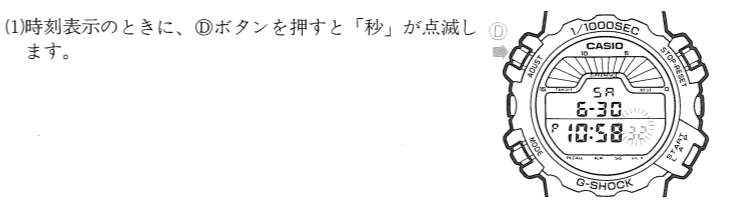
操作のしくみと表示の見方

⑥ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。(押すごとに操作確認音が鳴ります)
 ※詳しくは各機能の項目をご覧ください。



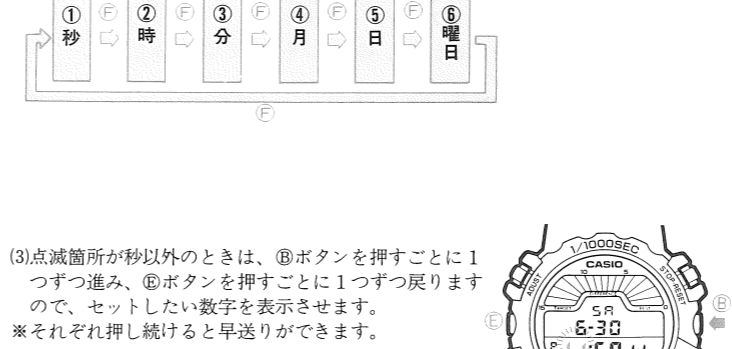
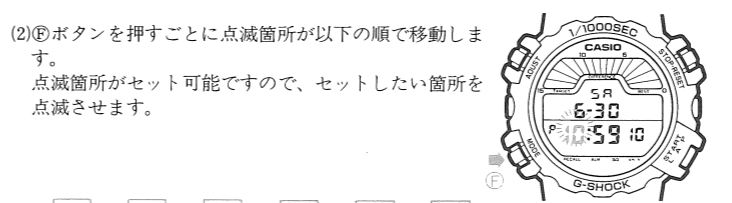
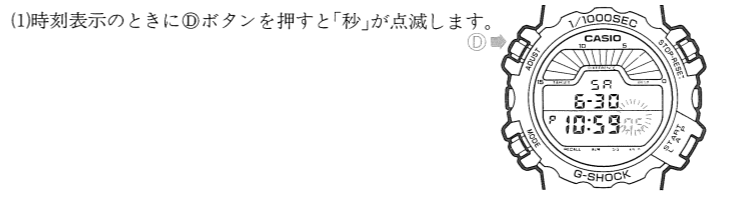
秒の合わせ方...30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。



⑥ボタンでセットしたい箇所を選び、⑥・⑥ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
 注)「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わりましたら、⑥ボタンを押して点滅を止めます。
 ※時刻セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。
 ※カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz
 常温携帯精度: 平均月差±15秒以内
 基本機能: 時刻表示=時・分・秒・午前/午後
 カレンダー表示=月・日・曜日 オートカレンダー
 アラーム機能: セット単位=分 電子アザー=20秒間
 時報 毎正時に2回電子アザーで報時
 ストップウォッチ機能: 計測単位=1/1000秒 計測範囲=9時間59分59秒999(10時間計)
 計測機能=通常計測、積算計測、ラップ計測 時速計算
 ラップタイム・スプリットタイムを9本メモリー
 ベストラップ・ベストラップ時時速メモリー
 セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)
 アラームセット機能、目標ラップタイムセット機能、
 周回コース距離セット機能
 その他: 自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切り替え、ライト
 主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップC/MOS-LSI
 使用電池: CR-2016(電池別途販売)
 電池寿命: 約3年
 (1日当り、アラームを20秒、ライトを1秒、1週間にストップウォッチを2時間使用した場合)

ストップウォッチの使い方...操作のしくみにしたがって⑥ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

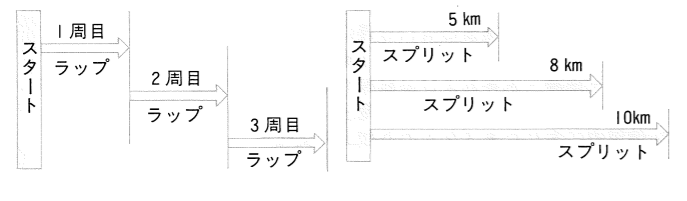
ストップウォッチは1/1000秒単位で、最大9時間59分59秒999(10時間計)までのラップタイムを計測し、以後自動的に0に戻って計測を続けます。
さらに、9本のラップタイムとスプリットタイム、ベストラップ*1とベストラップ時の時速をメモリーできる機能があります。
また、区間コース距離*2や目標ラップタイムをセットしておけば時速や目標ラップタイムとの差を自動的に計算することもできます。
*1 ベストラップは計測されたラップタイムのうち最も速い記録です。
*2 区間コース距離は、周回競技では1周分の距離です。



＜計測範囲＞
ラップタイム：0時間00分00秒000～9時間59分59秒999
ラップ数：0～99
ラップ差：-59分59秒999～±00分00秒000～+59分59秒999
目標とのラップ差：-59分59秒999～±00分00秒000～+59分59秒999
ラップ時速：000.000～999.999km/h
目標ラップ時速：000.000～999.999km/h
※ラップタイム、ラップ数は、以後、自動的に0に戻り、くりかえし計測を続けます。

ラップタイムとスプリットタイム

- ラップタイムは計測中の任意の区間(周回競技では1周分)の所要時間。
例：陸上の周回レース
- スプリットタイムはスタート地点から任意の地点までの経過時間。
例：マラソンでの10kmまでのタイム



計測前の準備

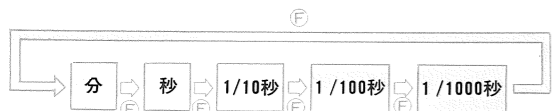
計測前に区間コース距離や目標ラップタイム(周回競技では1周分のタイム)をセットしておけば、計測したラップタイムから自動的に時速や目標ラップタイムとの差が計算できます。
※時速や目標ラップタイムとの差が必要でないときは、セットしなくてもかまいません。

目標ラップタイムのセット

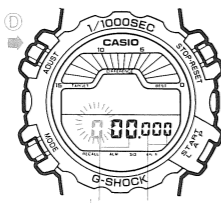
(1)ストップウォッチモードで⑥ボタンを押すと表示窓上段の目標ラップタイムが点滅します。



(2)目標ラップタイムセット中に⑥ボタンを押すと点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3)点滅箇所が⑥ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑥ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、セットしたい数字を表示させます。
※⑥・⑦ボタンは押し続けると早送りができます。
※目標ラップタイムは59分59秒999までセットできます。
★表示が点滅しているときに、⑥ボタンと⑦ボタンを同時に押し、目標ラップタイムをクリア(00'00"000に戻す)することができます。



(4)目標ラップタイムのセットが完了したら、⑥ボタンを1回押すと表示窓下段の区間コース距離が点滅し、区間コース距離のセットとなります。
※区間コース距離をセットしない場合は、続けて⑥ボタンをもう1回押すと点滅が止まり、ストップウォッチモードの表示に戻ります。

区間コース距離のセット

※区間コース距離のみをセットする場合は、ストップウォッチモードで⑥ボタンを2回押すと、直接区間コース距離のセットになります。

(5)区間コース距離セット中に⑥ボタンを押すと点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を点滅させます。



(6)点滅箇所が⑥ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑥ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、セットしたい数字を表示させます。
※⑥・⑦ボタンは押し続けると早送りができます。
※区間コース距離は999.999kmまでセットできます。
★表示が点滅しているときに⑥ボタンと⑦ボタンを同時に押し、区間コース距離をクリア(000.000に戻す)することができます。



⑥ボタンでセットしたい箇所を選び、⑥・⑦ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、区間コース距離をセットします。

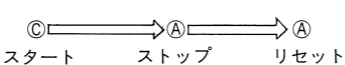
(7)区間コース距離のセットが完了したら、⑥ボタンを押すと点滅が止まり、ストップウォッチモードの表示に戻ります。

※目標ラップタイムまたは区間コース距離セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

計測の仕方

※計測中、1/1000秒表示は高速動作のため“B”で停止しているように見えますが、内部では正確に1/1000秒で計測を行なっています。

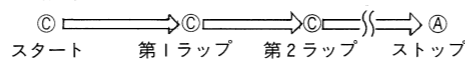
通常の計測



ラップ計測

ラップ計測はストップウォッチモードで⑥ボタンを押すとストップウォッチがスタートし、以後、⑥ボタンを押すごとに各周回のラップタイムが計測できます。
また、自動的に9本のラップタイムとスプリットタイム、ストップタイム、ベストラップとそのときの時速をメモリーしますので、リコールモードで呼び出して見ることができます。
※ラップタイムのメモリーは9本までで、それ以上計測した場合は、自動的に古いデータを消去し、新しいデータを9本(最後の9ラップ分)メモリーします。

計測開始



※計測終了後、新たな計測をするときは、⑥ボタンを押してリセットします。

ラップタイム計測中および計測後、⑥ボタンを押している間表示ラップタイム(例では第4ラップタイム)と前回ラップタイムとの差とラップ時速を表示し、⑥ボタンを押している間目標ラップタイムとの差と目標時速を表示します。
目標ラップタイムとの差 第4ラップタイム (第4ラップ-第3ラップ)
前回とのラップ差 (第4ラップ-第3ラップ)



※1時間を越えるラップの計測を行なった場合は、表示窓上段では分以下のみ表示しますが、ラップ差や時速の計算等は時符を含むデータで計算しています。
※ラップ差表示は前回または目標よりも遅いときは“+”マークが、早いときは“-”マークが、同じときは“±”マークが点灯します。
※時速は計算後、四捨五入で求めています。

ベストラップ通知機能

計測したラップタイムがベストラップのときは、約3秒間の電子ブザーによる報音と“BEST”マークの点滅でベストラップであることを知らせ、メモリーします。
なお、ベストラップ通知機能は、ラップタイムが1時間未満のときのみ行ないます。
※計測停止時(ストップタイム)にベストラップを計測しても、⑥ボタンによる計測停止ではベストラップとして扱いません。



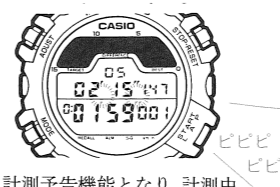
目標ラップ通知機能

セットしてある目標ラップタイムより短いラップタイムを計測したときは、約3秒間の電子ブザーによる報音と“TARGET”マークの点滅で目標より速いことを知らせます。
なお、計測したラップタイムによっては目標ラップとベストラップの両方の条件を満たすことがあります。そのときは報音とともに“TARGET”、“BEST”マークの両方が点滅します。
なお、目標ラップ通知機能は、ラップタイムが1時間未満のときのみ行ないます。
※目標ラップタイムがリセット(00'00"000)のときは報知しません。
※計測停止時(ストップタイム)に目標ラップタイムより短いラップタイムを計測しても、⑥ボタンによる計測停止では報知しません。

目標ラップマーク



例：目標ラップタイムが2分15秒の場合



目標ラップタイム予告機能

計測中にセットしてある目標ラップタイムの約16秒前になると約1秒間の電子ブザーとグラフ表示の全点灯で予告を開始します。予告中はグラフ表示が1秒ごとにカウントダウンし、目標ラップタイム経過後は15秒まで1秒ごとにカウントアップします。

計測予告機能

目標タイム予告機能で目標タイムをセットしていないときは計測予告機能となり、計測中のラップタイムが前回ラップタイムの16秒前になると、目標タイム予告機能と同様な予告を行ないます。
この機能により、ラップ操作の準備が素早くでき、レース観戦などでハイスピードで目の前を通る目標物が速過ぎて認識が遅れ、ラップ操作が遅れてしまうのを防げるので便利です。

メモリーの呼び出し

メモリーしたデータは⑥ボタンを押してリコールモードで見ることができます。リコールモードではメモリーされたデータの古い順から表示され、⑦ボタンを押すごとに順に新しいデータが、⑥ボタンを押すごとに逆の順で表示されます。



また、⑥ボタンを押している間ベストラップタイムとそのときの時速を表示します。

●メモリーされたデータは、ストップウォッチモードで計測をリセット後、次の計測開始まで記憶されています。

グラフ表示の見方

グラフ表示は以下のように秒または1/10秒に連動して表示します。

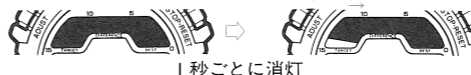
通常計測時

グラフ表示左から0.5秒で全点灯し、続けて左から0.5秒で全消灯をくりかえします。

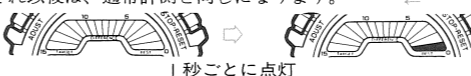


目標ラップタイム予告時

目標ラップタイムの16秒前になるとグラフ表示が全点灯し、以後、左から1秒ごとにカウントダウンしながら消灯していき、目標ラップタイムに達すると全消灯します。



目標ラップタイム経過後は、右から1秒ごとに15秒後までカウントアップしていき、それ以後は、通常計測と同じになります。



計測/計算エラー

以下のようにラップタイム差や時速計算などでデータが正しくないとき(計測範囲を越えている場合)は、ラップ差や目標ラップとの差、時速表示に“-”を表示してエラーとなります。

- ラップ計測が計測範囲(9時間59分59秒999)を越えた場合。
- ラップ差が計測範囲(-59分59秒999～+59分59秒999)を越えた場合。
- 時速の計算結果が計測範囲(999.999km/h)を越えた場合。
- 第1ラップ計測中(ラップタイムデータがない場合)

なお、計測範囲を越えたときは、ベストラップ報知および目標ラップタイム報知は行ないません。

アラーム・時報の使い方...操作のしくみにしたがって⑥ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子ブザーで知らせてくれます。また、毎正時(00分00秒)を“ビビビ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



アラームのセットの仕方

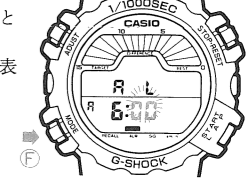
(1)アラームモードで⑥ボタンを押すと「時」が点滅します。
※アラームONマーク“ALM”が点灯します。このとき⑥ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動します。点滅箇所がセット可能ですので、⑥ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させます。



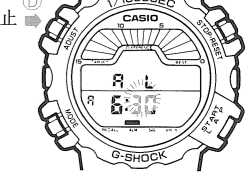
(2)点滅箇所の表示数字が⑥ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑥ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、合わせたい「時」を表示させます。
※⑥・⑦ボタンは押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前/午後にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。



(3)「時」のセットが完了したら、⑥ボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様な操作で合わせたい「分」を表示させます。



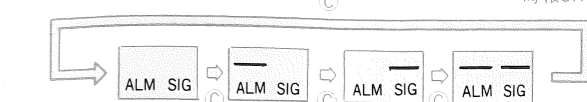
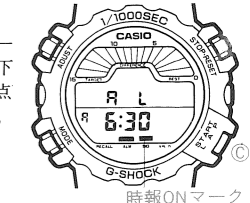
(4)セットが完了したら、⑥ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。



※アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、⑥ボタンを押すごとにアラームONマーク“ALM”、時報ONマーク“SIG”が以下の順で点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときがONで、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る
時報 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る

※アラーム・時報を鳴らさないときは、各マークが点灯していない状態にします。

●鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるには、④⑤⑥⑦ボタンのいずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム
アラームモードで⑥ボタンを1～2秒以上押し続けると電子ブザーが鳴ります。